

令和元年6月20日資料提供	
(和歌山県・和歌山市 同時提供)	
和歌山県調査統計課 担当 津田、谷口 電話 073-441-2390 内線 2390	和歌山市企画課 担当 吉田、影山 電話 073-435-1015 内線 2445

2019年工業統計調査の調査用品の紛失について

和歌山市内において、統計調査員（女性・70歳代）が、2019年工業統計調査の準備調査名簿を紛失する事案が発生しました。

準備調査名簿は、調査対象となる事業所の事業所名や所在地等が記載されたもので、その名簿を基に、統計調査員は調査活動を行います。

なお、工業統計調査は、国の基幹統計調査で、法定受託事務として、都道府県、市町村が調査事務の一部を行っているものです。

1 概要

- | | |
|--------------|----------------------------|
| (1) 紛失が判明した日 | 令和元年6月18日（火） |
| (2) 紛失場所 | 和歌山市内 |
| (3) 紛失物 | 2019年工業統計調査準備調査名簿2枚（2事業所分） |
| (4) 記載内容 | 事業所名、所在地、電話番号、主要製品名、従業員数等 |
| (5) 名簿の見本 | 別紙のとおり |

2 経過

○6月17日（月）

調査員が夜間、調査資料の整理を行っていたところ、準備調査名簿2枚がないことに気づき、自宅内を探したが、発見できなかった。

○6月18日（火）

調査員から和歌山市企画課に報告。調査員によって再度自宅を探すも発見できなかった。同日、市企画課から和歌山県調査統計課に状況を報告

○6月19日（水）

市企画課職員及び当該調査員が、紛失に係る2事業所を訪問し、各経営者に事案の説明と謝罪を行い、西警察署に遺失届を提出した。

市企画課から県調査統計課に紛失の事案の概要を報告

県調査統計課から経済産業省に紛失の事案の概要を報告

3 今後の対応

和歌山県及び和歌山市においては、今後、このような紛失事案等が再発しないよう、工業統計調査だけでなく、他の統計調査においても、調査員に周知徹底を図り、紛失事案等の重大性への認識を高める措置を採って参ります。

経済構造統計
工業調査準備調査名簿

秘

(枚中 枚)

01 工業調査 事業所番号 甲及び乙	2 事業所名 営業上用いられている名称を記入してください。定まった名称のない場合は、事業主の氏名を記入してください。	3 事業所所在地 都道府県名及び市区名(郡制の場合は町村名)を附き、以下番地、○○ビルまで詳細に記入してください。	4 主要製品名 製造品又は加工品名の主なものを記入(商品分類表大印の品目名及び番号)してください。		5 従業者数 標準員数を除く ※出社者を除く	6 調査票の種別 甲 乙 Z 1 2	7 事業所の異動状況 該当するものを○で囲んでください。	8 備考	
			◎ 番号	品目名				新規	削除
		TEL 〒				甲 乙 Z 1 2	1.開設・転入 2.転業 3.調査区移動 4.既設	5.廃業・転出 6.転業 7.調査区移動	
		TEL 〒				甲 乙 Z 1 2	1.開設・転入 2.転業 3.調査区移動 4.既設	5.廃業・転出 6.転業 7.調査区移動	
		TEL 〒				甲 乙 Z 1 2	1.開設・転入 2.転業 3.調査区移動 4.既設	5.廃業・転出 6.転業 7.調査区移動	
		TEL 〒				甲 乙 Z 1 2	1.開設・転入 2.転業 3.調査区移動 4.既設	5.廃業・転出 6.転業 7.調査区移動	
		TEL 〒				甲 乙 Z 1 2	1.開設・転入 2.転業 3.調査区移動 4.既設	5.廃業・転出 6.転業 7.調査区移動	

◎ 事業所数 合計	◎ 甲	◎ Z Z1 4~29人	◎ Z Z2 1~3人	◎ うち休業 甲 Z1 4~29人	Z2 1~3人
調査員氏名					

- ◎印欄は調査員又は市区町村、○欄は市区町村で記入してください。
- 従業者数は、「この事業所に従事している人の男女計」を記入してください。
- 調査票の種別欄は従業者数4~29人の事業所は「Z1」、従業者数1~3人の事業所は「Z2」に○をつけてください。
- 事業所数は名簿の1枚目に記入してください。
- 調査員氏名欄は各業ごとに記入(押印でも可)してください。
- 調査区番号又は市区町村番号に変更があった場合には、備考欄に旧番号を記入してください。
- 同一市区町村内事業所の異動は、事業所の異動状況欄の「調査区移動」に○をつけてください。

